

上はあれどもうハ唯秋の鳥鷹をいふべし犬どもつとむべしと
ともや古写本塙本ともは初句秋ふとて古写本の註め
名所とて本のまうへうの鷹はうさうへうやうさうへうハ逸物なるや
犬もむせざるもともとり或人云拂鞭とて鷹人の功者あるハ
拾芥ゆゑ犬も引せむとてゆるるるをされば鷹人と云人はかる
かりうハ鷹ハ本のまうへう人ハ犬も引せぬ鷹人と云意未
或鷹書ハまうへうの鷹とてハ表の巾ゆゑ反毛ある鷹と
ひ又本のまうへうともちてこのうをいさうはるハ鷹ハ限つ
事や本のまうへうの見極るどもうくわけさう今ハ略く
うもひをけむのそとあつさのうめさうハ鷹ともう